

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称)社会医療法人社団 熊本丸田	階数	地上6F	
建設地	熊本県熊本市中央区新屋敷1丁目1	構造	SRC造	
用途地域	近隣商業地域、準防火	平均居住人員	0 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年4月23日	
敷地面積	5,226 m ²	作成者	近藤	
建築面積	3,278 m ²	確認日	2018年5月24日	
延床面積	14,393 m ²	確認者	吉永	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

★★★★★

100

50

0

0

50

100

3.0

1.5

BEE=1.0

環境品質 Q

環境負荷 L

S

A

B⁺

B⁻

C

47

1.0

46

ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)

☆☆☆☆☆

BEE = 1.0

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

排出率

94%

2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価		評価点												
  		76												
	評価点	熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	80.7	<table><tr><th>判定値(評価点)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>100点以上</td><td></td></tr><tr><td>80点以上100点未満</td><td></td></tr><tr><td>60点以上80点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点以上60点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点未満</td><td></td></tr></table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上	    	80点以上100点未満	   	60点以上80点未満	  	40点以上60点未満	 	40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上	    													
80点以上100点未満	   													
60点以上80点未満	  													
40点以上60点未満	 													
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5													
【重点事項4】 循環型社会の実現	70.5													
※評価点は、100点以上が推奨です。														

CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

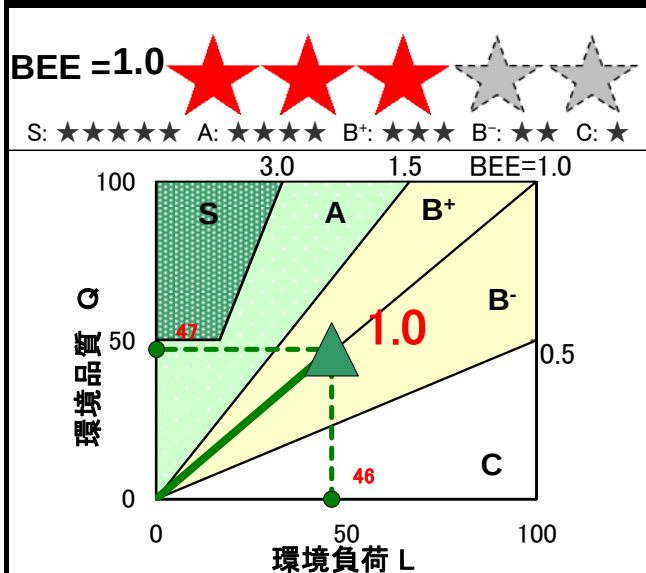
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)社会医療法人社団 熊本丸田	階数	地上6F
建設地	熊本県熊本市中央区新屋敷1丁目1	構造	SRC造
用途地域	近隣商業地域、準防火	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年4月23日
敷地面積	5,226 m ²	作成者	近藤
建築面積	3,278 m ²	確認日	2018年5月24日
延床面積	14,393 m ²	確認者	吉永

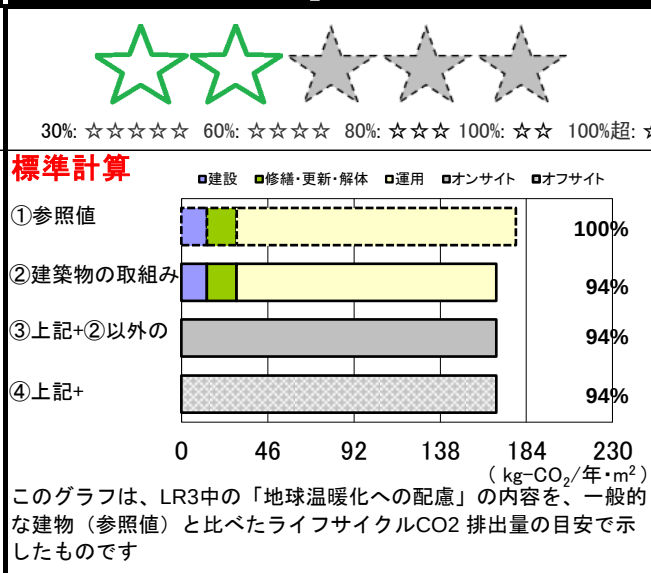
1-2 外観



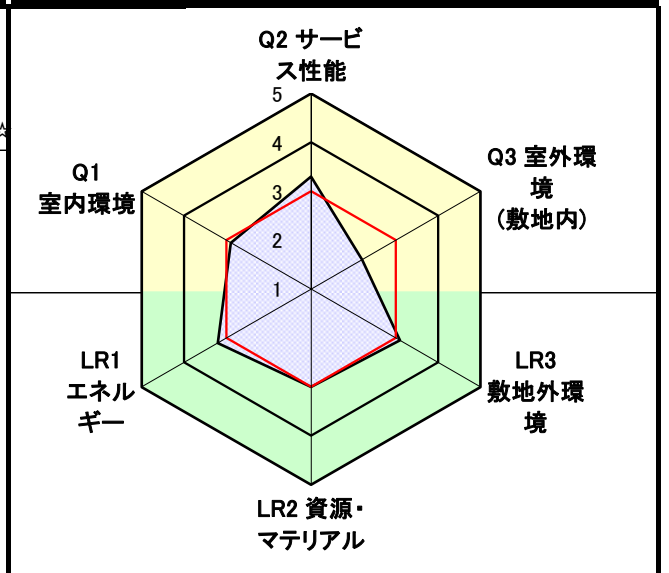
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



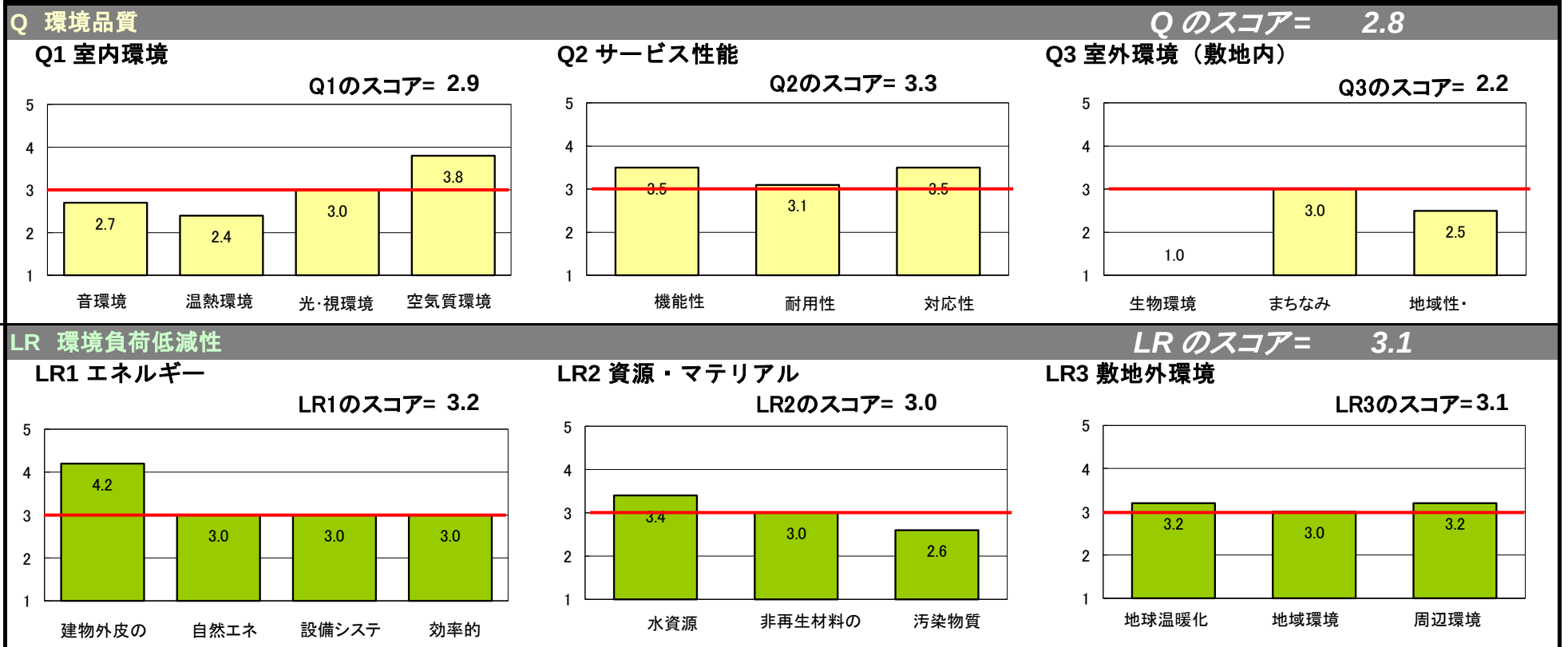
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)社会医療法人社団 熊本丸田会 熊本整形外科病院 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.8	
Q1 室内環境					0.40		-	2.9	
1 音環境				2.6	0.15	3.4	1.00	2.7	
1.1 室内騒音レベル		(病室部) 病室:35dB(A)		3.0	0.40	5.0	0.40		
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				2.4	0.35	2.4	1.00	2.4	
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				3.0	0.25	3.1	1.00	3.0	
3.1 昼光利用				4.2	0.30	2.4	0.30		
1 昼光率		(共用部) 2.5% ≤ 12.4%		5.0	0.60	2.0	0.60		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		(共用部) 庇(病室部)カーテン、庇設置		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.9	0.25	3.7	1.00	3.8	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		(共用部・病室部) 住戸内床下・天井裏にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	3.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		0.7 > 0.067 (1/15)			-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙(敷地内に喫煙コーナー設置)		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3	
1 機能性				3.3	0.40	4.6	1.00	3.5	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		(病室部) 個室20.77㎡/床で、かつ多床室10㎡/床以上。			-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応					-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	4.0	0.40		
1 広さ感・景観		(病室部) 病室 天井高:2.7m			-	5.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		①防汚性高い仕上材(抗菌仕様) ③洗浄可能な床材(ビニル床タイル) ④ホコリの溜まりにくい設計を採用 ⑤風除室の扉の距離を確保(3.2m) ⑥大きく異なる床材接近なし ⑧壁面が汚れないような設計(庇) ⑩外部に露出する金属部材にメッキ処理		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		①清掃用資材スペースを設計 ②清掃用資材洗い場、洗濯機設置 ④廃棄物のスペースを確保 ⑤専用の清掃流しや水道を配置 ⑧台所流しの各排水トラップは取り外し清掃できる ⑨バルブ等の調整は操作が容易 ⑪共用部での維持管理作業が可能(PS、EPS)		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30		-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.2	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		揺れを抑える装置を導入		4.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上り材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上り材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		①節水型器具の採用②可能な限り配管の系統を区分⑤井水、中水などの利用可能		4.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.6	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	4.2	0.50	
1	階高のゆとり	(共用部)階高:4.7m (病室部)階高:4.2m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	(共用部)0.1≦0.15<03	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BEI:0.90≧0.88≦0.80	4.2	0.20	-	-	4.2
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.80	3.0	0.50	-	-	3.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	自動水栓、節水型便器を用いている	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	・内装材と設備が錯綜せず取り外し可能・OAフロア	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場、駐輪場の確保、管理車用駐車施設の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインを満たす、広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【 配慮事項 】

4 設計上の配慮事項
総合 道路面からの圧迫感に配慮し、透明感と温かみを強調する為、ガラスのカーテンウォールと、木調ルーバーを適宜配置した。 また、周囲との景観の調和やまちなみへの潤いを生み出すために、敷地周囲に緑地を配置した。
Q1 室内環境 建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、開口部から光や風を取り入れられる環境を提供できる設計。 また、建物全体が禁煙となっており、敷地内に喫煙コーナーを設置した。
Q2 サービス性能 室内の広さ、階高にゆとりを持たせて快適な空間を得られるように努めた。 免震構造を採用し、内部設備保護など地震時のゆれ軽減を図っている。 節水型器具の採用、また井水の利用を可能とすることで節水に努めた。
Q3 室外環境（敷地内） 周辺景観に配慮し敷地内に適切な緑地作りを計画。
LR1 エネルギー LED照明の採用による設備システムの効率化を図った。
LR2 資源・マテリアル 自動水栓、節水型便器を採用し水資源の保護に努めた。 再生できるユニット部材（OAフロア）を使用し、資源保護に努めた。
LR3 敷地外環境 駐車場、駐輪場、管理車用駐車場の確保。 広告物照明はなく、光害対策ガイドラインを満たし外に漏れる光への対策をしている。
その他

熊本県重点評価結果スコアシート		実施設計段階
建物名称	(仮称)社会医療法人社団 熊本丸田会 熊本整形外科病院 新築工事	

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		76
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)			スコア			
① 温室効果ガス排出量削減の推進						
Q1-2.1.2	外皮性能		3.0	0.05	80.7	0.40
Q1-3.1.3	昼光利用設備		3.0	0.05		
Q1-3.2.1	昼光制御		2.0	0.05		
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制		4.2	0.15		
LR1-2	自然エネルギー利用		3.0	0.20		
LR1-3	設備システムの高効率化		3.0	0.30		
LR2-2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10		
LR3-2.3.3	交通負荷抑制		4.0	0.10		
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現						
Q2-1.1.3	バリアフリー計画		3.0	0.25	65	0.20
Q2-2.1.1	耐震性		3.0	0.25		
Q3-1	生物環境の保全と創出		1.0	0.15		
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.20		
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.15		
③ 県の地域資源の有効活用と保全						
Q3-2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.20	82.5	0.20
LR2-1.1	節水		4.0	0.30		
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入		3.0	0.20		
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.30		
④ 循環型社会の実現						
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	70.5	0.20
Q2-3	対応性・更新性		3.4	0.30		
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.10		
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.15		
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.15		

- 評価点算出式
- 評価点は、以下の方法により算出しています。
- ◆総合評価結果
- 総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和
- ※重み係数の総和は、「1」であること。
- ◆各重点事項(①～④の項目)
- 評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20
- ※重み係数の総和は、「1」であること。
- ※(5/4)×20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数